



プロジェクト名

食のみやこ鳥取県を調べてPRしよう!

鳥取県は海・山・里の豊かな自然環境に恵まれ、素晴らしい食材が数多く生み出されています。鳥取県では平成19年から「食のみやこ鳥取県」をかかげ「食」のキーワードとした様々な企画を行っています。このプロジェクト研究では「食のみやこ鳥取県を調べてPRしよう」と題して新しいPR方法についての検討を行っています。本プロジェクト研究は大学として取り組んでいる「麒麟の知(地)による学生教育プログラムの開発・展開」の一環でもあります。地域を志向した課題として、まずは地域で地元食材を活用して様々な取組みをしている方々を尋ね、現在の取組みについての取材を行いました。また、このプロジェクト研究では栄養成分という観点からも地元食材に注目し鳥取県産業技術センターにもご協力いただき、食品の化学分析の手法についても体験しました。実際に食品の分析機関でも用いられている分析手法・機器を使って自分たちが取り組んでいる食材について化学分析を行いました。



▲ 食材を化学分析するための準備をしている様子

食材をPRする上では、まずその食材の優位な点、問題点を抽出します。優位性・独自性・話題性は何か、どうすればそれらの長所を伸ばすことができるか、そしてどのようにすれば問題点を克服できるかを考えます。また、どういう層にPRしていくかも考えなくてはなりません。その層がどういう人たちで構成されているか、その層の求めているものは何かも分析します。その層に対して具体的に食材を活かしたシーンを具体的に提案できるかがこのプロジェクト研究の成功の鍵になります。プロジェクトメンバーからの新しいPRのアイデアが楽しみです。

プロジェクトアドバイザー 環境学部 山本 敦史 講師

プロジェクトメンバー

- 梨：安藤 秀行(環境学部) / 井上 実、岡村 果奈、筒井 大貴(経営学部)
- ラッキョウ：大生 唯統(環境学部) / 浦野 あかり、日浦 佳穂(経営学部)
- きのこ：和泉 俊哉、松田 美優、野口 さやか(環境学部)
- ジビエ：鷲見 幸星(環境学部) / 大坪 圭佑、柿本 陸、原田 千聡(経営学部)
- 日本酒：堤 美里、長嶋 芳美、陳 霽成(環境学部)

2017年度 公立鳥取環境大学 学部・大学院入学式を挙行

平成29年4月4日(火)、とりぎん文化会館 梨花ホールにおいて、入学式を挙行しました。学部生321名(環境学部151名、経営学部170名(うち三年次編入学1名))、大学院生3名が入学しました。式典では、高橋学長が「大学では、答えのない問題に挑戦していく。論理的に考える力を養い、コミュニケーション能力を伸ばしながら学んでほしい」とあいさつしました。学部新入生代表の遠藤理子さんと、大学院新入生代表の森本祈恵さんがそれぞれ入学生宣誓を行い、今後の決意を述べました。また、歓迎セレモニーでは、TUES しゃんしゃん愛好会による鳥取の伝統芸能である傘踊りと、和太鼓部による勇壮な演技が行われ、賑やかな鈴の音と力強い太鼓の音が会場に響き渡りました。





環境学部 山本敦史講師が 日本質量分析学会 2017年度奨励賞を受賞

[日時]平成29年5月17日(水)～5月19日(金)
[開催地]つくば国際会議場 エポカルつくば
(茨城県つくば市竹園2-20-3)
[主催]一般社団法人 日本質量分析学会

平成29年5月18日(木)に、本学の環境学部環境学科山本敦史講師が、日本質量分析学会2017年度奨励賞を受賞しました。この賞は、質量分析学の進歩に寄与する優れた研究をなし、なお将来の発展を期待しうる者に授与する賞です。今回の受賞は山本講師が取り組んできた「質量分析を用いた環境残留性物質の同定に関する研究」に対してのもので、この研究は私たちの生活に身近な物質が数多く環境中に残留していることを明らかにしました。



鳥取県4大学長による 「単位互換に関する包括協定書」 締結式が行われました

平成29年6月5日(月)、鳥取大学(豊島良太学長)、鳥取短期大学(松本典子学長)、鳥取看護大学(近田敬子学長)、本学・高橋一学長の鳥取県4大学長が、鳥取大学に一堂に会して「鳥取県4大学間の単位互換に関する包括協定書」締結式を行いました。この4大学は、従来からそれぞれの教育研究の特色を活かしながら、地域のための大学として、地域を志向した人材育成を行っており、平成27年度に文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」に採択されたことを契機として、この度の協定書締結に至りました。具体的な単位互換科目については4大学間で詳細を検討しており、本年度後期から単位互換を始める予定にしています。

デンマーク王国のフレディ駐日大使 に本学で講演いただきました

平成29年5月31日(水)、フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク王国大使が本学を訪問され、基調講演を行っていただきました。デンマークの男女平等の文化に関わることや、水環境保全やエネルギー問題への先進的な取組について紹介されました。質疑応答では学生から、デンマークの農家が行っているバイオマス熱供給等について、活発な質問がありました。

今回の本学への訪問のきっかけは、鳥取県の山陰少年少女合唱団リトルフェニックスが、今年デンマークで開催される国際青年音楽祭に参加することに伴い、駐日デンマーク王国大使が初めて来県されたものです。



オープンキャンパス2017を開催

平成29年8月5日(土)、6日(日)、オープンキャンパスを開催しました。連日の猛暑の中、県内外から多くの高校生、保護者、高校教員の方など合わせて1,063人が来場されました。

当日は環境学部・経営学部の研究室公開、学部毎の「模擬授業」に多くの来場者が参加し、本学の教育・研究内容を理解していただきました。

また、学生スタッフによるキャンパス見学ツアーでは、9月中に完成予定の「大講義棟」を学外の方へ初めて公開し、教育・研究環境のさらなる充実に向けた取り組みをご覧いただきました。さらに、教職員、オープンキャンパススタッフやクラブ・サークルの学生達、国際色豊かな英語村スタッフとの交流も楽しみ、本学の魅力を十分感じていただけたと思います。

